



世界一わかりやすい今日から使える脳科学講

芯観exe.Webセミナー

1 限目

圧倒的速度で願いが叶う「脳」の使い方

-あなたの脳内タイムマシーンを起動せよ!-

塚田：皆さん、おはようございます。

小沼：おはようございます。

塚田：この度は、「能力覚醒メソッド芯観 exe. WEB セミナー」にご登録いただきまして、ありがとうございます。今回、プログラムのナビゲーターを務めさせていただきます、フォレスト出版の塚田と申します。最後まで、どうぞよろしくお願い致します。まずこのプログラム、WEB セミナーの少しだけご紹介をさせていただきます。今回、このプログラムは 2016 年に初公開されまして、本当に大変な好評と、受講生の方がたくさんの圧倒的成果を出したプログラム、芯観プログラムのパワーアップバージョンとして、芯観 exe. という名前でお届けさせていただきます。再来週に開催される WEB セミナーでは、どんなにどん底の人でも本当にあり得ない成果を出されることで有名な、脳科学会のドラゴン桜と呼ばれる石川大雅先生をお招きして、自分の脳を願望実現決定済みの脳にアップグレードする、パワーアップするようなプログラムをお届けさせていただきます。こちらの 2 時間半の WEB セミナーでそういった内容を全てお届けしていきますので、ぜひ楽しみにお待ちいただければと思います。それまで少しお時間がありますので、今回プレセミナーというものを、こちらの動画ですね、こういった動画をご用意させていただきました。このプレセミナーの担任の先生として今回こちら、石川先生の一番弟子である、小沼勢矢先生にお越しいただいています。よろしくお願い致します。

小沼：よろしくお願いします。

塚田：それでは小沼先生、少しだけ私のほうからご紹介をさせていただきたいと思います。小沼さんは脳の機能や仕組みを活用し、クライアントに結果を出させるプロフェッショナルとして、石川先生の今は一番弟子なんですよね。

小沼：そうですね。

塚田：特徴はとにかく早く結果が出る、ありえない結果が出る、その2つの結果を出されるということで、すごく評判になっています。最近いろんな方からお聞きした話だと、歯科医院のコンサルティング会社の方、4か月でなんと売り上げが3.5倍になっていると。それから、社内評価がDという感じで、ずっとDだった方が社内でトップから2番目の評価を得られるですとか。あとは、売り上げが低迷していて、お店をたたもうかなと思われていたラーメン屋さんが、たった半年で売り上げがV字回復したですとか。これはホント、一部なんですよ。

小沼：そうですね、一部ですね。

塚田：いろいろ聞いているので私は一部だと知ってるんですけども、そんな紹介しきれないくらいの成果を出されているコンサルタントでいらっしゃると思います。クライアントさんの中では一社に一人小沼さんがいればみたいな、「一社に一人小沼さん」みたいな感じで言われるほど、絶大な信頼を得られているコンサルタントの先生であります。



小沼：ありがとうございます。恐縮です。

塚田：それではほんとに、今回はよろしくお願いいたします。

小沼：はい、よろしくお願いします。

塚田：もうほんと出し惜しみなく、いろいろ教えていただけるとのことなんですから。

小沼：そうですね。せっかく Web セミナーまで時間ありますので。かつ、脳科学って言うのが難しいというふうに感じる方も多いと思うんですよね。ですけども、そうじゃなくてこのプレセミナーではやさしく、そして分かりやすく、テレビだと有名な池上彰さんのようにですね、脳科学というものをやさしく分かりやすく伝える、まさに脳科学会の池上彰さんを目指して、ちょっと私もお伝えしていきたいなと、そんな立ち位置で皆さんと触れ合えればいいかなと思ってます。

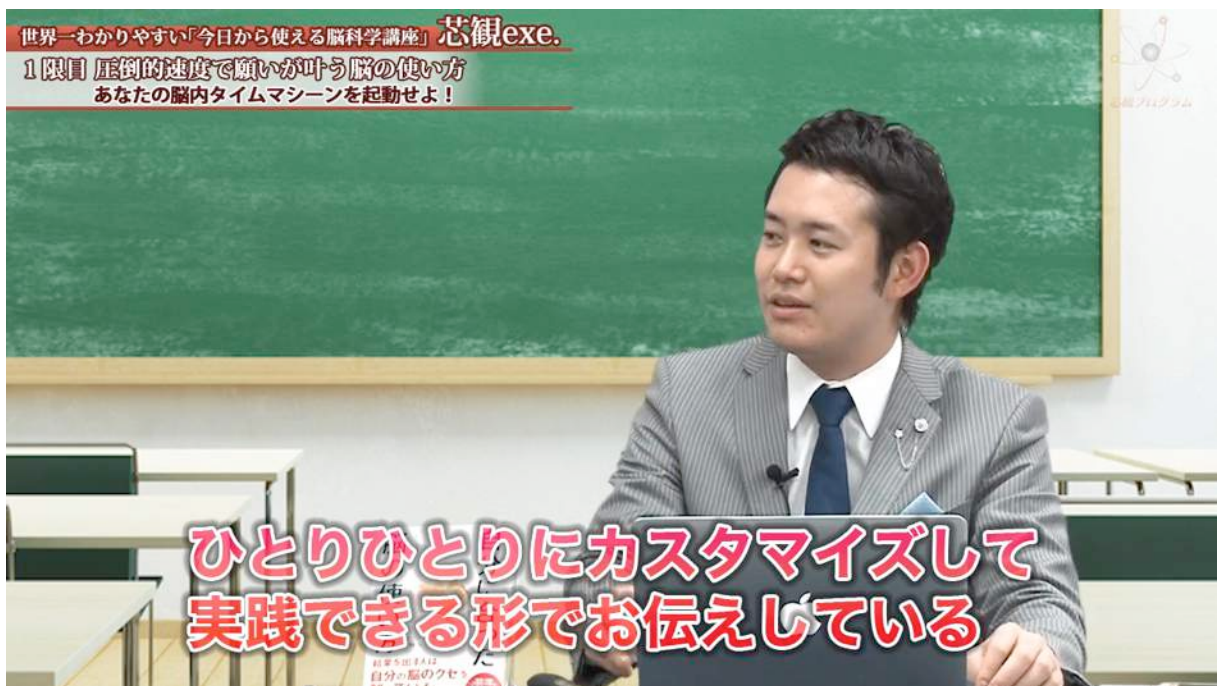
塚田：じゃあこの番組はやさしい脳科学みたいな、そういう感じの番組になっていくというかたちですね。プレセミナーは3回お届けしていくので、よろしくお願いいたします。まず、プレセミナーの開始に先立ちまして、今回はこの「芯観 exe.」というプログラム開発者の石川大雅先生、少しだけご紹介をさせていただきたいと思います。石川先生、NHK、NTT、帝国データバンクなど本当に大企業、誰もが知っているような企業のほうを中心に40年間で10万人の方を指導されていて、どんなにどん底の人でも例外なく成果を出すと、そういったところすごく有名な先生でいらっしゃいます。だからドラゴン桜っていう異名がついているんでしょうね。どんなどん底の人でもっていうことで。本当にその名は偽りなく、2016年にフォレスト出版と一緒に共同出版させていただいた芯観プログラムというプログラムでは、一応小沼先生も関わっていらっしゃっているんですけども、無職だった女性が社団法人を立ち上げて、なんと年商数百億の企業からコンサルのオファーをいただいたりですとか。あとは、普通の主婦の方が100人規模のイベントを主催して成功して、事業として成り立ってスタッフを雇うまでになったりですとか。あとは、地方発のカバンブランドの方が、地方の一都市から世界にいきなり行くような切符を突然手に入れたりですとか。奇跡的な成果を出されていると。石川先生と本当に当たり前でこういう成果を出されるっていう。



小沼：そうですね。これもほんの一部の、前回の芯観プログラムの中でもほんの一部のご実績ですね。

塚田：なんでここまで圧倒的な成果を出されるんですか、石川先生は。

小沼：私から見るとやっぱり脳科学っていうところを扱っているのかつ、脳科学っていうと難しい、知識だけは分かるけどっていう。でも、みんなそれぞれの脳に合った、その人に合った脳の使い方をお伝えして、さらにその脳の使い方をどういうふうにか成果に結びつけばいいのかっていうのを一人一人にカスタマイズして、かつ、実践できるかたちでお伝えしているのかつ、こういう結果が誰でも出るんじゃないかなと思うんですけどね。



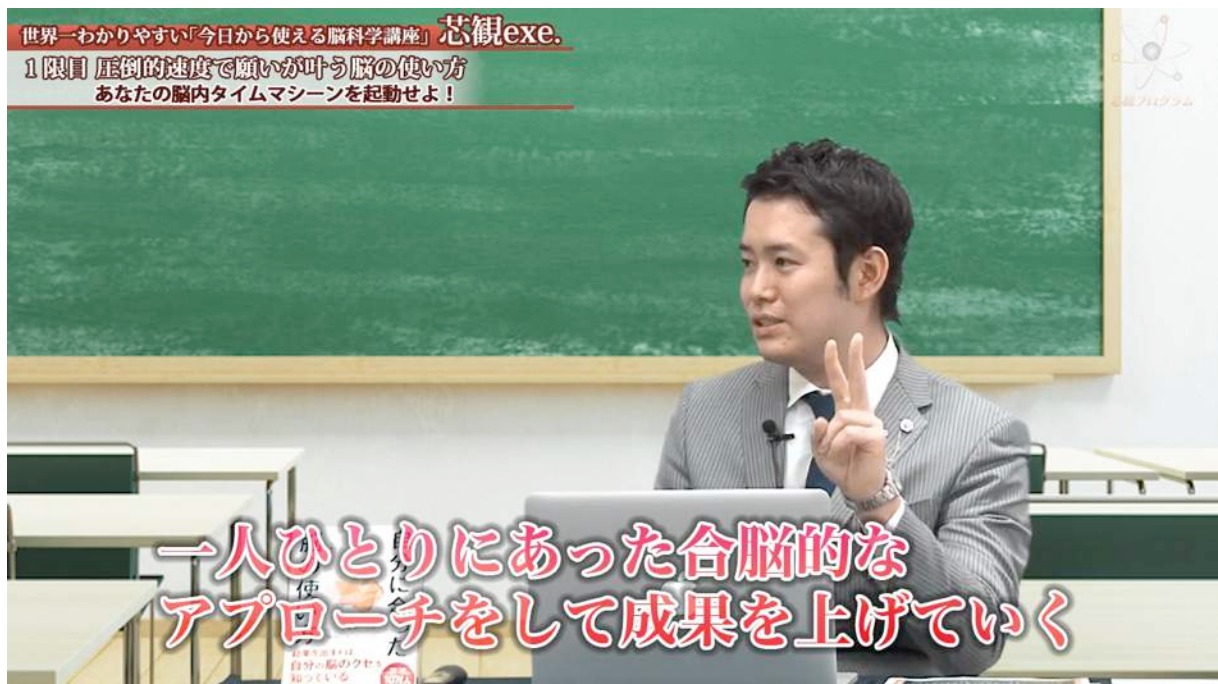
塚田：ありがとうございます。そうですね、2016 年の芯観プログラム、「実践的脳科学」っていう謳い文句で、実際に実践して成果を出されていると。

小沼：まさにそうですね。

塚田：ありがとうございます。そんな石川先生のお話を WEB セミナーではお聞きできるというかたちですね。WEB セミナーまでは少し、先ほどもお伝えした通りお時間ありますので、それまでの間、先ほど小沼さんに言っていた通り、今すぐ使える、誰にでもやさしく分かるというかたちで脳科学の講座を 3 回お届けさせていただきますので、楽しんでご覧いただければと思います。それでは本題のほうに入っていきたいと思うんですけども。やっぱり今自分でも言っていて、改めて感じるのが、とにかく早いというのはお聞きするんですよ。あと、結果が再現性を持って出ると

いう声も聞くんですが、なんでそういう結果が出せるんでしょうか？

小沼：我々がやってるのは脳科学っていう切り口でコンサルティングをしていて、脳科学ってなかなかコンサルティングの現場で脳科学っていうのを使う会社ってあんまり多くはないんですよ。こういうことを言ってるか主に2つあって、いわゆる私たちの脳に普遍的な脳の特性とかってのは、誰しもが持っているような脳の特性っていうのをどううまく活用するかっていうことが1つと、それから一番大事なことは、その人に合った、例えば塚田さんだったら塚田さんの脳に合ったアプローチをする。うちは合脳的と言っているんですけども、一人一人に合った合脳的なアプローチをして成果を上げていくと。

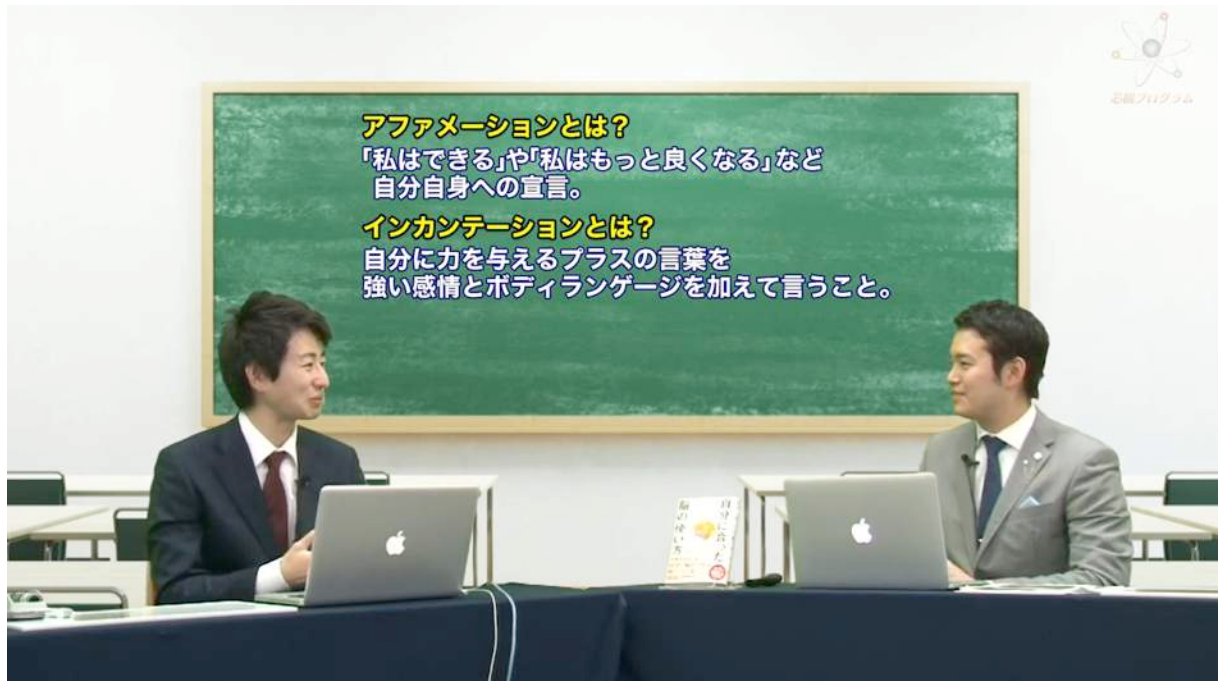


今この2つをしているんですよ。それでクライアントさんの成果を上げていくと。例えばさっきの歯科医コンサルティングの方、ああいう成果出ているんですけども、あれはあの人に合った合脳的なアプローチがあるので、一人一人やっぱり違うんですよ。そういうアプローチをしているから結果が出るというのが特徴かなと思いますね。

塚田：脳科学っていうと、ドーパミンを出せばとにかくやる気が出るとか、セロトニンを出すと心が平和になるとか、みんな同じような働きなのかなと思ったんですけど、一人一人違うところもあるってこと

小沼：そうですね。おっしゃるように、共通している部分はあります。例えば今おっしゃったドーパミンというのは、基本的には快樂をつかさどる物質なんですよ。ですからドーパミンが出ているときは快樂、楽しいとかうれしいとかっていう気持ちになるんですけど、それは共通しているんですけど、ドーパミンを出すまでのステップとか、ドーパミンが継続する時間の長さみたいなとこ

ろは、やっぱり一人一人違うんですね。ですから、例えば私がドーパミンを出す何か手法を持っていて、ガッツポーズを、アフメーションとかインカンテーションとかが合ってる人もいれば、合わない人もいるという違いはあるんですね。



塚田：なるほど。じゃあ今のインカンテーションのお話だと、大声出して「よっしゃあ、やるぞやるぞ」みたいなのをやると出るってみんな言ってるけど、出ない人もいるってこと。

小沼：出ない人もいる。私は出ないタイプです。

塚田：そうなんですね。

小沼：残念ながら。

塚田：やってもあんまり。

小沼：ちょっと過去に何回もやったことがあったんですけども、私自身がそんなにうまくいった実感がなかったので、そういう人も多いんじゃないかなと思いますけどね。

塚田：はい、すごくよく聞きます。私も出ないタイプだってことが今分かりましたので。

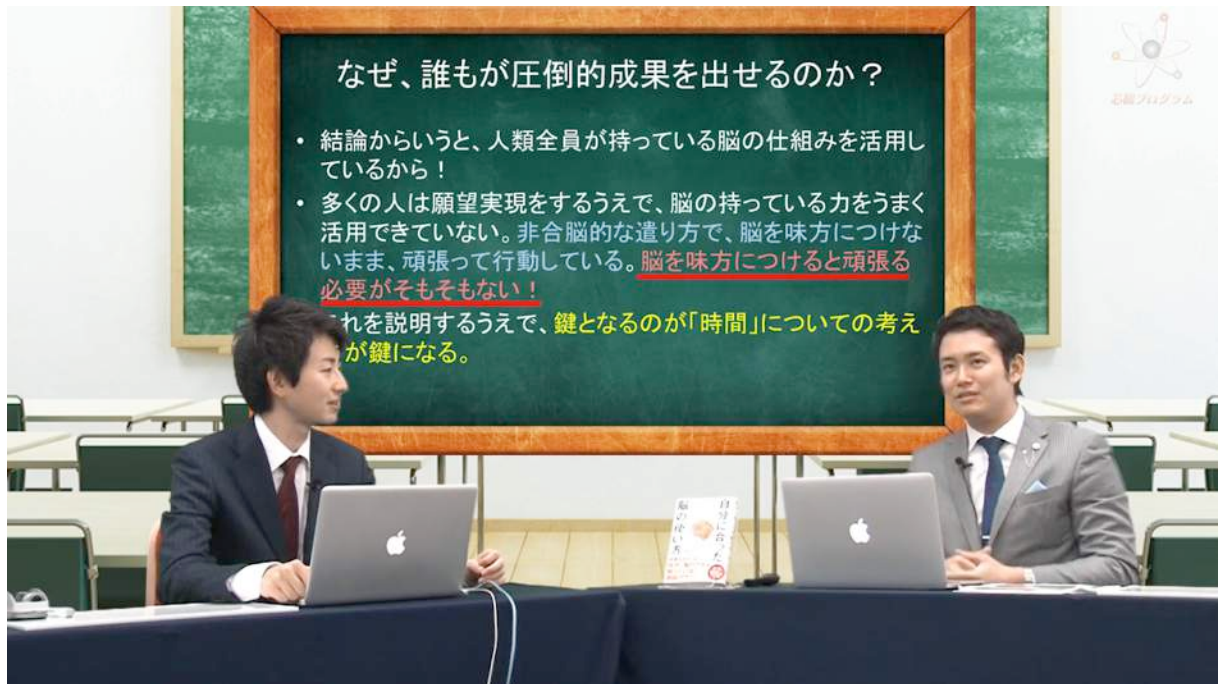
小沼：だからそういったことをコンサルティングの現場で、その2つのアプローチをしているというのが特徴だと思いますね。

塚田：なるほど。じゃあそれを使ってって、そこから最大の特徴である、すごいあり得ない結果がすごい速度で、っていうのが得られてくるというかたちなんですね。ありがとうございます。本当にこのプログラムは今回もかなり 2~3 年近く一緒にやらせていただいているので、すごく感じるのが結構多くのプログラムって「この人成功しそうだな」って人はすごい成功するけど、そうじゃない人は意外と変わらないまま、変われないままにいる人が実は裏にいっぱいいらっしゃるっていうプログラムすごく多いと思うんですけど、この芯観プログラムの特徴って本当に誰でもいけちゃうっていうところがすごいあると思うんですけども、何でもそこまで本当に誰でも、ある意味それまで何をしてたかとかあんまり関係ないで結果出してると思うんですね。無職だったのにすごい結果出された方もたくさんいらっしゃると思いますし。何でもそういう、誰もが当たり前結果を出すということが出てくるんでしょうか。

小沼：結論から申し上げますと、今言ったように人々が持っている脳の仕組みっていうのを最大限に活用しているからなんですよ。ですから脳の仕組みをいかに活用するかっていうのを体系化したメソッドが、この芯観というものなんですよ。というのがまず結論であるんですよ。つまりどうということかっていうと、なかなかうまくいかない人ってやっぱりたくさんいらっしゃると思うんですけども、うまくいかない人っていうのは脳の仕組みを活用できてないだけなんですよ。

塚田：さっきのドーパミンが、出そうと思ってんだけど出せてないとか。

小沼：つまり非合脳のやり方ですよ。脳に合っていないやり方で、しかも自分の脳ですね、自分の脳に合っていないやり方で、ある意味で味方につけないまま頑張って行動していると。頑張ってるんですよ、頑張ってるけど、結果が出ないと。でもそれは単純に脳を味方につけていないだけで、脳を味方につけて行動することができれば、そもそも頑張る必要がない。頑張ってるという感覚なくしてうまくいくとか、願望実現ができるというのが特徴ですね。



塚田：今回はこのプレ動画 1 のタイトルが、「願いを叶える脳の使い方」っていう、願いを叶えるってところが入ってると思うんですけども、今回はそれについて、脳をフル活用してどう願いを叶えていくのかっていうのもこれからお聞きできると。

小沼：そうですね。

塚田：はい、よろしくお願いします。

小沼：ちょっと本題に入っていきたいんですけども、今回タイトルが「脳内タイムマシーンを起動せよ」ということで。

塚田：めっちゃ気になる言葉入ってますね。

小沼：脳内タイムマシーンって何だろう？みたいな感じなんですけど。

塚田：すごい気になってます。

小沼：実はそのキーワードとなるのが、「時間」という考え方なんです。

塚田：そういう仕組みになってるんですね、すごい。黒板があって無事に進めていけると。

小沼：これ先ほどのスライドなんですけれども、ちょっと次に移って、ここですね、時間。時間観という話を少ししたいと思います。時間をどう捉えているかって話です。これは一般的な時間観、イメージですね、時間の。

塚田：普通の世間一般の人はだいたいこんな感じですよ。

小沼：これは見ていただくと分かる通り、過去があって現在があって未来があってという、これ塚田さんイメージ沸きますよね。



塚田：そうですね。これを見て率直に思ったのは、そうだなっていう。

小沼：そうですね、一般的な時間観と言われてます。私たちはこれを物理的な時間軸と言ってるんですね。

塚田：物理的っていうのは、物が古くなっていくとか、そういう感じの時間観ですかね。

小沼：そうですね。もともとは、ユダヤ教キリスト教ってお聞きになったことあると思うんですけども、そのユダヤ教キリスト教の考え方とされてます。ですから一般的に流布している考え方で、もともとはユダヤ教とかキリスト教はこの考え方にのっとって、過去・現在・未来があると。

塚田：そういう流れになっている。逆に、それ以外の考え方も本来はあったのが、今はユダヤ教キリスト教の考え方がメインになっているから、みんな当たり前にかこう思っているっていう。

小沼：そうですね。ちなみに時間という概念が本格的に使われだしたのは 1700 年代くらいと言われていて、イギリスのグリニッチ天文台っていう、何か聞いたことある、時間の標準時があるところ。あれが標準時で統一されたのが 1700 年頃と言われてるんで、意外とそんなに経ってはないんですよ。

塚田：じゃあ今、私たちが当たり前に捉えているのは、実は最近の話ってことですね。

小沼：そうですね。これが物理的時間軸。ただしこれはですね、ちょっと過去の話になってくるんですけども、この大前提は過去の経験、体験というのが、今だったり未来を決めているというのは、実はこれものすごく大きなポイントなんです。過去の経験、体験。ちょっとイメージこんな感じなんで、これまた指鳴らすとイメージの場面が出るんで、ちょっといいですかね。こんな感じで。

塚田：うわ、すごい過去っぽい感じに。

小沼：古代みたいな感じですね。

塚田：歴史があって今の私たちがいるみたいな。

小沼：そうです。これ例えばどういうのがあるかと話すと、進学とかイメージつきやすいと思うんですよ。例えば私が英語得意だったんですよ、高校のときに。TOEIC とかね、ああいう勉強してたんで。私何選んだかって言うと、英語が高校のとき得意だったから、外語大学に進学したんですよ。これって、過去ですよ、まさに。

塚田：そうですね。得意だったから、当たり前のようにそういうふうに行くと。

小沼：就職とかもそうだと思うんですよ。外国語大学にいたから、やっぱり私の友達って就職先が空港とか外国の貿易関係が多いんですよ。

塚田：英語ができるから、そういうところに行くと。

小沼：そうです。これは、過去を主軸に現在の自分の行動だったり、未来を決めてますよね。



塚田：まさに就職活動って自己分析して、できることで選ぶっていう感じですね。

小沼：たぶん皆さん聞いて違和感ないと思うんですけど、こういうのが、こういう考え方で生きている、こういう時間観の捉え方ですね。

塚田：当たり前のように普通の人を選んでるのは、こういう感じの考え方。

小沼：そうですね。こうなったときに、次のステップ。望ましい未来があったときに、ただこれどうなるかということ、こんな感じですね。行動しようとしたときに、過去を主軸に生きているので、過去をベースに未来も考えるわけですよ。なので、過去やったことないこととか、過去やったけどうまくいかなかったこと、失敗したことに対して不安になったりとか、行動が止まったりするんですよ。

塚田：例えば起業して好きなことで月収100万円になりたいとか、そういうことがある人は、起業したことがなかったら、みたいな話ですね。

小沼：不安になって、できるのかな？っていうふうに。つまり未来は何となく描くんだけど、確信が持てない。まさに確信なしという状態がこの特徴なんですね、一般的な時間観の。ですからどうなるかということ、行動がうまくできなかったりとか、ここに書いてあるように、なんかめんどくさいなと、そんなに他人事なんで、結局は。とか、うまくいかない、結局行動しても継続できなかったりとか、っていうことでこの時間観っていうのは一般的に使われている時間観なんですけど、実はうまくいかない時間観の捉え方。つまり脳内マシンが起動できない状態。

塚田：起動できてない状態なんですね。

小沼：残念ながら。

塚田：結構ビジョンを頑張って立てたり、理想の未来をいっぱい書きだしたりするような本とかセミナーとかが今すごい増えてると思うんですけど、それがやっぱりなかなか成果が出ない人が多いっていうのは、一般的にはこの時間観で生きてて、その時間観の中でそういうことを立てたりするから、できてないと。

小沼：そうです。脳内タイムマシンが使えてない状態で未来を実現しようと思っても、実現できない。残念ながら。ですから、この物理的な時間観で生きると、未来は変わらないということなんですよ。

塚田：過去が前提に、過去と一直線状の未来があるから、変えようと思っても無理っていう。

小沼：そうなんです。だから今セミナーとかに参加してなかなか、そもそも時間観変えようっていうこと自体がないですから、前提として。

塚田：ないですね。初めてお聞きした話です。

小沼：恐らくほとんど言っていないと思います、こういうことは。でもこれじゃうまくいかないですよ、ということをもまずは押さえていただきたいなと思います。で、次ですよ。何が気になります？次。

塚田：次はやっぱりここまで来たら、実際、脳内マシンどうやって起動していくのかっていうのが、めっちゃくちゃ気になります。

小沼：取っとうと思ったんですけど、お話ししたいと思います。

塚田：取っとうと思ったんですか？お願いします。

小沼：話せよっていう感じですよ。

塚田：はい、ぜひお願いします。

小沼：今回は脳内タイムマシンをどう起動するかっていうことをお話ししたいんですが、これちょっと今、過去の画面がなってますから、場面変えたいと思います。せっかくなので今回気合い入れ

て指鳴らしたいと思うんで、気合い入れたら一気に変わりますから、いきたいと思います。

塚田：お願いします。お一、すごい。

小沼：こんな感じで変わりましたね。

塚田：これタイムマシーン感ありますね、両手で鳴らしただけある。

小沼：ちょっとゲッツみたいになりましたけど。

塚田：なってますね。

小沼：ちょっと今、自分でやってて思いましたけどね。こんな感じです。

塚田：すいません小沼さん、未来でいいところに来たんですけど黒板が、黒板置いてきちゃってるんで。

小沼：黒板は普通にいいですかね。

塚田：ただ鳴らしたいだけみたいな感じになってますけど。黒板戻ってきました。

小沼：これさっきの図ですよ。じゃあ、次これですね。まさに脳内タイムマシーン起動するための、願いが叶う人の時間観。どんなのかというと、これはさっきの図と同じです。

塚田：丸がなくなってますね。過去と未来のところに。

小沼：そうですね。物理的に過去・現在・未来というのが流れているということで、キーワードはこれですね、脳内時間軸。

塚田：物理的時間軸とはまた別で、脳内時間軸というのがあると。

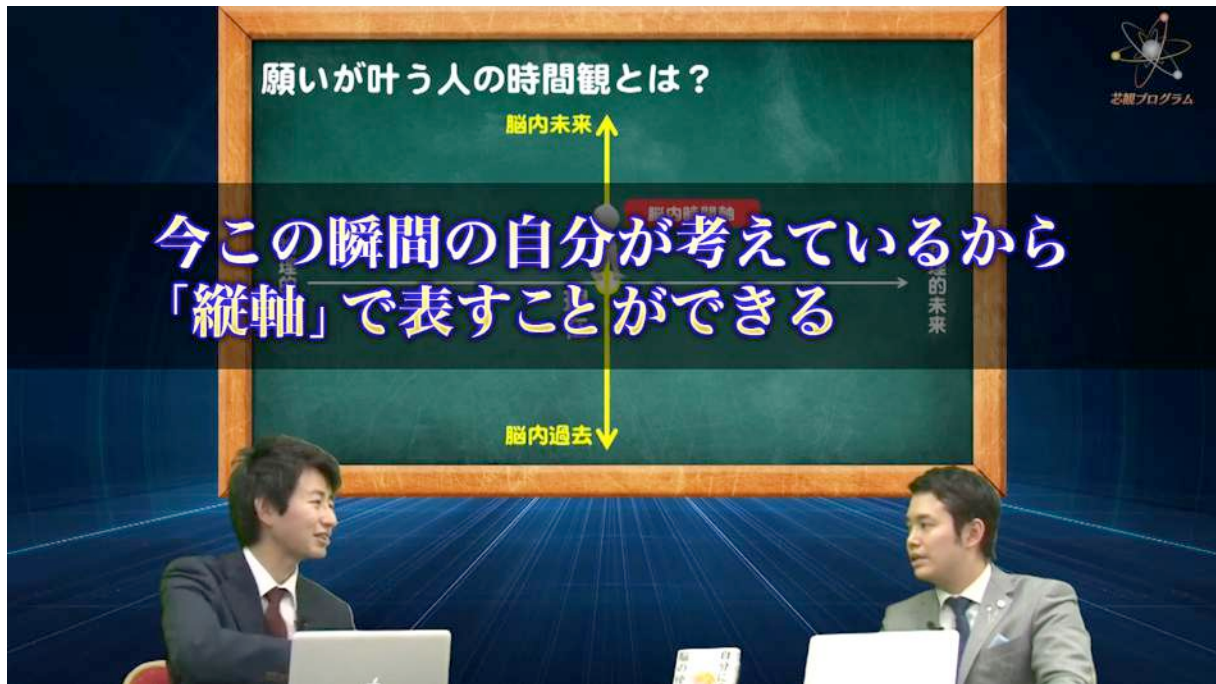
小沼：脳の中に時間軸があるというので脳内時間軸と私たちは言ってます。物理的時間軸と対をなす、反対の概念だと思っていただければいいんですけど、イメージで言うとなんか感じです。

塚田：縦軸。

小沼：縦軸です。これはどういうことかという、脳の中に、すでに私たちはまだ実現していない未来を創り出すことができるし、その物理的過去とは別に、脳内で脳内過去というものを創り出す

ことができるということが、まずこの説明なんです。

塚田：縦軸なのは、今この瞬間の自分が脳の中で考えているから、全部縦軸で今この瞬間にあるっていう。



小沼：例えば身近な事例でお話すると分かりやすいと思うんですけど、塚田さん、今どっか行きたい場所とかありますか？行ってみたいところ。

塚田：そうですね今、ハワイに行きたいと思います。

小沼：ハワイに行きたいとすると、塚田さんハワイ行くとしたら、どういう行動を取ります？実現するために。

塚田：ハワイ行くとしたら、まずパスポートが最近切れてるので、パスポートを更新しに行きます。あとは、とりあえず JTB に行って、ホテルとか航空機とか、そこら辺の確保をしに行く感じになりますね。あと、行く日程を決めます。

小沼：大事ですね。まさに今やっていただいたことが、この縦の軸なんです。つまり自分の中で、脳内未来でハワイに行こうという未来を創りました。それに基づいてどう行動すればいいかっていうことを考えましたよね、今。ハワイに行くという未来を実現するために。じゃあ JTB さん行く、パスポート切れてるからパスポート更新しなきゃいけない、行く日程決めるという話があったんですけど、これはおそらく塚田さんの過去、自分が経験、体験してきたことの中にこういうこと、

例えば JTB さんに行くとハワイの情報が入手できるなっていうことを知ってるから、その過去をまさに未来に活用しているわけですね。それを一瞬で脳の中でできたわけじゃないですか。

塚田：確かにそうですね、当たり前のようにやれてます、やってみました。

小沼：当たり前ですよ。これ、皆さんできるんですよ。例えば通勤に行くときもそうだし会社行こう、あの電車に乗ろう、っていういわゆる自分が日常的にやっている当たり前のことをできるじゃないですか。例えば家帰ったら食事作って、っていうことをまだやってないんだけど、すぐにできるじゃないですか。

塚田：ありますね。もうメニューが頭の中に思い浮かぶくらい、臨場感ありますね。

小沼：これは、誰でもが持ってる能力なんです。実は誰もでも持ってるんですけども、われわれ人間しか持っていない力でもあるんですよ。動物と人間の大きな違いっていうのはまさにこの脳内時間軸の話で、例えばトラとかゴリラとか馬とか、こういった動物というのは、この脳内時間軸という考え方ができないんですね。あくまでも実在するもの、例えばトラだったら、トラが獲物を狩るとか、あるいは馬だったら何でしょうね、ゴリラだったら木の実を取るとか、っていうふうに実在するものに対してのアクションはできるけれども、トラがそれこそ実在しない神様とか信じたりしないじゃないですか。人間っていうのはそういう目に見えないとか、あるいは存在していない未来を創り出すことができたり、その未来を実現するために過去というものをどう使ったらいいかということを想像できる力が持ってる。これは人間だけの力なんです。

塚田：確かにトラとかクマとかが「よし、明日のご飯何にしようかな」みたいな、そういうのいないですね。お腹が空いたら狩りに行くみたいな。

小沼：っていうことですね。ですから今この動画を見てもらってる方も、誰でも持ってます、この能力は。ただしその引き出し方、つまり脳内マシンの起動、まさにこの脳内時間軸を創ることが実は脳内マシンを起動することなんです。でもその起動の仕方、知らないじゃないですか。

塚田：確かにハワイくらいまでは行けても、3年後の願いを叶えられるかって言われるとちょっと分かんない。

小沼：まさにそうです。この脳内時間軸を創ると、ハワイに行くとか仕事に出るとかは直近のことですけど、3年後あるいは5年後、10年後の脳内時間軸も創れるようになるんですよ。そこがものすごい大きな特徴。

塚田：ある意味タイムマシンに乗りこなして、普通の人は1週間くらいの近辺しか行けないのが、すごい遠くまで行けるようになっていくと。

小沼：そうなんです。まさにドラえもののタイムマシンみたいな世界で、行き来ができるということですね。

塚田：そんなすごいことできるのかなっていう感じなんですけど。

小沼：できるんですよ。もうちょっと説明するとですね、先ほど言った望ましい、望む未来に対して、うまくいかない人っていうのはいきなり行動する。

塚田：物理的時間軸のほう。

小沼：そうですね。これうまくいきますよねって話さきましたよね。行動できないと、確信がないという状態です。でも、この脳内未来を創っている人は、まず自分の中でこういうふうに赤の矢印のように脳内未来を創る。つまり、脳内未来を自分の脳にプログラミングするということですね。だから自分の中で確信のある未来が持てる。何でかっていうと、まさに今、塚田さんがハワイの例で言ったように、ありありとハワイに行くための脳内未来がプログラミングされてるんで、まず全然リアル実感度合も違うし、生々しさも違うと。



塚田：例えばハワイに行くレベルで好きなことをして月収 100 万円になるとか、素敵なパートナーと出会って結婚するとか、すごくいい家を買って幸せに暮らすとか、そういうレベルのこともハワイに行くレベルで脳の中に入れていけばいいと。

小沼：そうです。まさに今おっしゃったこと、たくさんそういった願望を持っている方多いと思うんですけど、そういった願望すらも脳内未来で創り出すことができますと。

塚田：もう願望って感じでもないですね、そうなってくると。

小沼：当たり前のように淡々と粛々っていう。

塚田：感じになっていくと。

小沼：っていうイメージですね。ですから、まず望む未来を創って、脳内時間軸の中で創って、それに向けて行動していくと。まさに当たり前のような、淡々とっていう感覚に近いんですけど。

塚田：点線だったところが実線になってますね、ちゃんと。

小沼：そうですね、そういうことですね。一方で、脳内過去についてちょっとお話をしたいんですけども。

塚田：そうですね。すごい気になったのが、さっきの例だと月収 100 万円になるって言っても、そういう経験もないし無理だよって思った人は、やっぱり過去がダメだから結局動けないので、この時もあんまり、そこは変わんないんじゃないかなと思ったんですけど、そこも変わるってことなんでしょうか。

小沼：そうなんですよ。ここもですね、この青の矢印のように、こういうふうには過去改変と言っているんですけども。

塚田：なるほど。なんかちょっとまたタイムマシーンっぽい感じの言葉が出てきましたね。

小沼：これは実践の事例を通してお話したほうがいいかなと思うんで、さっき出てきた、私のご紹介のときにあった歯科医院のコンサルティング会社の三浦敏美さんっていう女性の方なんですけれども、その方が事例として分かりやすいかなと思うんで、ちょっとお伝えさせてもらってもいいですかね。

塚田：お願いします。

小沼：この方は、今は歯科医院コンサルタントとしてすごい活躍をされてるんですけども、もともと実は過去、まさにその過去のときに、実はお父様がもともと歯科医院を経営されていて、経営が傾いてしまったんですね。急遽、彼女が継がなきゃいけないことになったんですよ。

塚田：結構大変な。

小沼：大変ですね。本人言っていましたけど、その当時は何でこんな私にこんな大変な家を継がせるんだと、不平不満ばっかり言っていましたね。

塚田：いやな記憶なんですよ。

小沼：そんなにつらいときに、ずっと医院経営を頑張ってうまく軌道に乗せたんですけども、それが今ですよ、まさに今、彼女は望まない未来で創っている、コンサルタントとして活躍するという未来を創っているんですけども、今実はその過去、あんなにつらい体験だったのが、実はものすごく生きてるんですよ。何でかって言うと、歯科医院のコンサルタントって、歯科医院を経営されてない方がコンサルティングすることって多いんですよ。なかなか歯科医院って経営しようと思っても経営できるものじゃないじゃないですか。大手さんでも歯科医院コンサルタントってたくさんいらっしゃるんですけど、歯科医院を実際に経営されてる方がコンサルティングすると、言葉の重みが全然違うんですよ。衛生士さんに対する対応の仕方とかトークの内容とか、それが実は彼女は今それが売りで、月収さっき言った4か月間で3.5倍っていう数字がありましたけれども、ものすごく業績を伸ばされているんですね。それは過去をまさに、あのときはつらい体験、経験だったけれども、まさに過去を変えたかのように、意味付けとか活用の仕方とかが自由自在に脳内未来があるところ。

塚田：嫌な過去だった、普通にしたら嫌な過去で目を向けたくなかったはずが、コンサルタントとして活躍するっていうことに合わせて見方を変えていったという。

小沼：そうです。ということが、誰でもできる。

塚田：すごい、過去改変っていう、そういう感じなんですね。

小沼：イメージで言うと、ドラえもんっていう有名アニメがありますけれども、タイムマシンに乗って過去へ行って、のび太くんが一部始終を見るわけじゃないですか。

塚田：過去に起こっていたことの。

小沼：しかもそれは大体、今の自分にとってはすごい嫌な経験だったり体験だったりした過去を垣間見るわけじゃないですか。結構テレビアニメの中ではその裏側というか、実はこういうこと起きてましたっていうことが放送されると思うんですけど、それを見たのび太くんは感動して、ほんとにそれまではつらい過去だったはずなのに、変わるわけですよ、その意味付けが。感動的なシーンに。

塚田：確かにありますね、そういう話。結構いくつも。

小沼：まさにそんな感覚なんですよ。それは脳の中で創り出せるということ、誰でも創り出せるということです。

塚田：ある意味、今は嫌な記憶だと思っているところが、実は宝の源泉になっていることもかなりあるということ。

小沼：そうです。ただしそれは脳内時間軸、つまりタイムマシーンを起動しない限りは、それができない。

塚田：起動していない状態でただ過去を見ても、ただただ嫌な気持ちになるだけっていう。

小沼：だからそれまで圧倒的に嫌だった過去が、脳内時間軸を創るとさっき言った、塚田さんがおっしゃった 5 年とか 10 年先とかまで圧倒的なスピードで実現できるのは、この嫌な体験すら脳内時間軸で確立すると扱えるんですね。まさにタイムマシーンのようなスピードで実現ができるということですね。

塚田：すごいよく分かりました。だから過去改変なんですね。

小沼：まさに過去改変です。

塚田：ありがとうございます。

小沼：こんな感じで、脳内過去をしっかりと自分の脳内未来に活用していくということですね。そしてこういうふうに行動できると。



塚田：望む未来に向かって、過去もちょっと違った過去から進んでいくっていう。

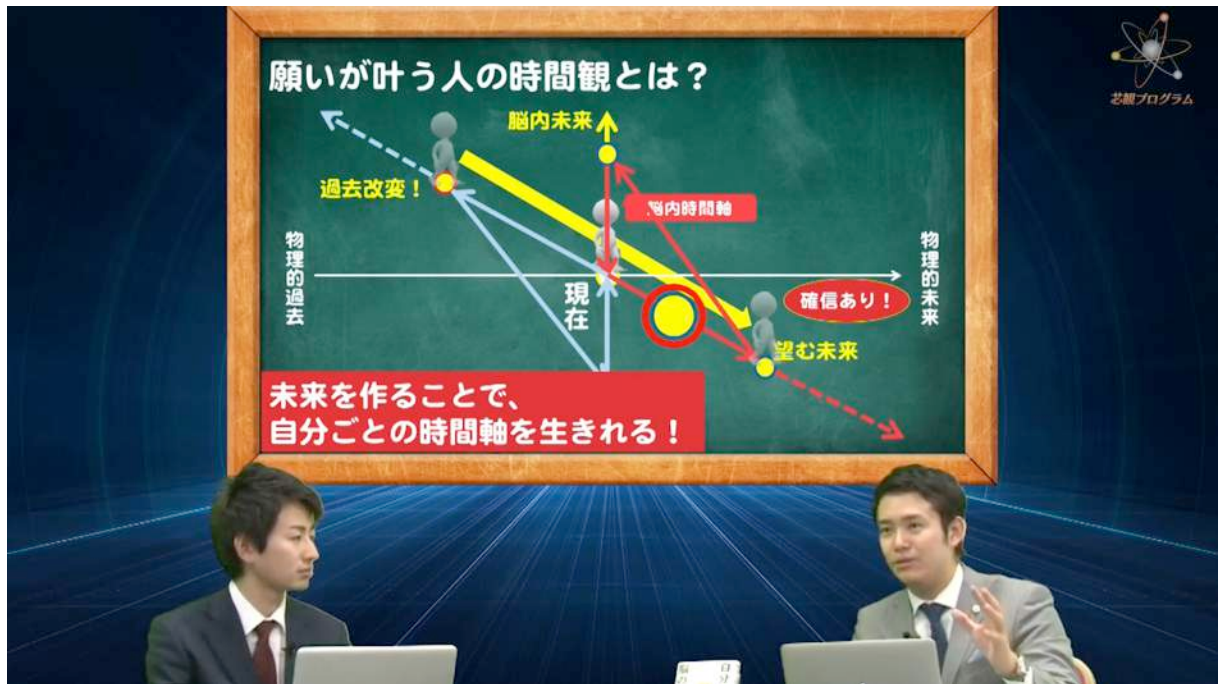
小沼：物理的過去ではなく、脳内で創り出した過去に対して使っていくということですね。そうすると、自分の中でも未来、過去も活用しているわけですから、確信が持ててどんどん行動できるということですね。ですから、私たちはよく未来は変えるのではなく未来は創るものだってよく言うんですよ。誰でも未来は創ることができると。未来を創ることで、まさに自分ごとの時間軸、これを生きていくことができます。

塚田：自分ごとになっているとやっぱり、行動ができるということ。

小沼：そうですね。専門用語ではリカーシブ意識っていうんですけど、脳科学的にはですね。意識にもレベルがあって、リカーシブ意識というのが一番最上位の意識と言われています。これがまさに自分事の意識なんですけど、まだ起きてない未来すらもリカーシブ意識で自分ごととして捉えて、それをどんどん実現することができるということが可能になる。これが脳内タイムマシンの秘訣なんですね。

塚田：これを起動できるようになってくるってということですね。

小沼：さらに重要なのが、これなんですよ。今出てきた黄色い丸。



これ何かと言うと、望む未来が3年後とイメージしている方とか、何年後ってイメージしている方。

塚田：月収100万のさっきの話とかですね。

小沼：われわれの芯観プログラムを受ける前の方もそうだったんですけど、実際受けた方っていうのは、3年後に立てた未来が半年とか、早い方では中には3か月とかで実現する方がいるんですよ。

塚田：すごいですよね、ほんとに。

小沼：それはなぜかということ。つまり、なぜそういった圧倒的な速度で願いが叶うのかって話ですよ。

塚田：あるんですか？ちゃんと理由が。

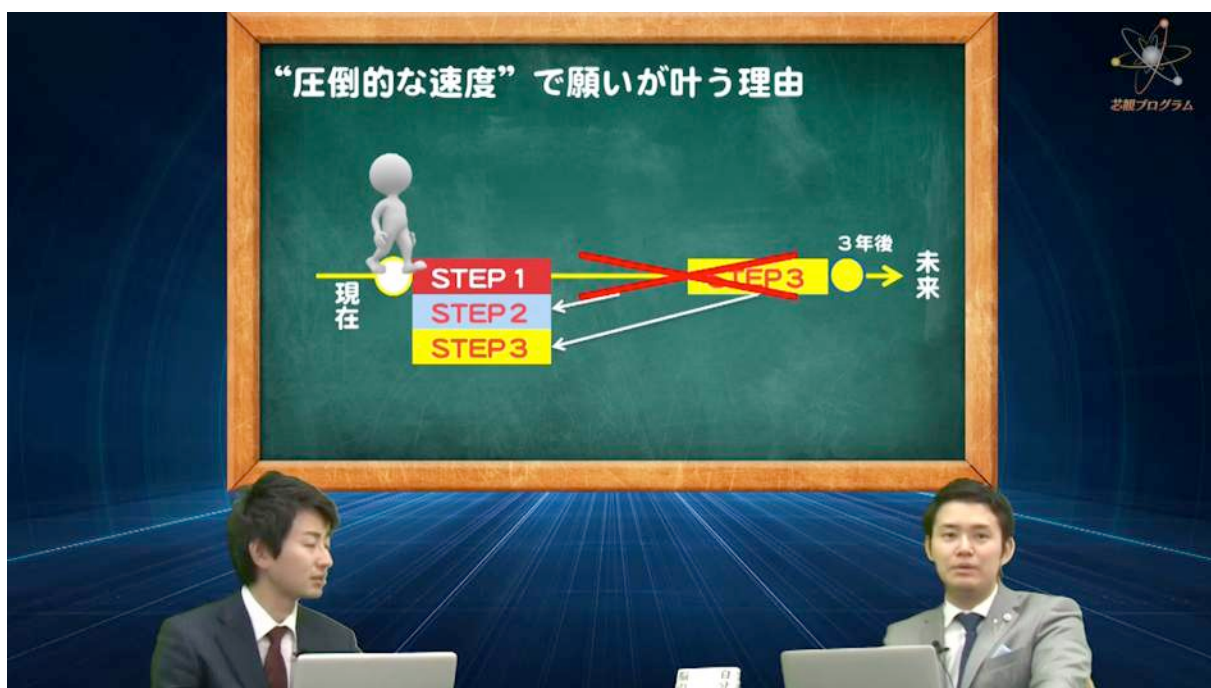
小沼：理由があるんですよ。ちょっとその辺りをお話していきたいと思うんですけど、一般的にこういう感じでイメージしてるんじゃないかと。例えば3年後、未来を実現したいとなったら、こういうステップ踏んで、こういうステップ踏んで、こういうステップ、1, 2, 3のように。こういうふうに直列というか、一直線で。



塚田：これをやったらこれをやってみたいな、プランってそういう感じですね。

小沼：実は今、私たちが言った脳内時間軸の話、タイムマシン起動するとそうではなくて、イメージはこれじゃなくて、こんな感じなんですよね。つまり、こんな感じです。

塚田：なるほど。もう2,3が同じ時期にあるということですか。



小沼：そうです。よくわれわれは連鎖的と言ってますけれども、例えばこの脳内時間軸を明確な時間軸とすると、1, 2, 3 と手順を踏むのではなく、1 でやっている内容のことが2にも応用できることが分かったりとか、2 でやってる内容が3に応用できることが分かったりとか、そういうふうに並列思考ができるようになるんですよ。脳ってのはもともとそういう、塚田さんなんかもそういう能力を持たれてる方なんですけど、塚田さんも複数のタスクを同時に並列してできる方。

塚田：結構好きです。

小沼：ですよ。そういう話されてたと思うんですけど、直列思考ではなく並列思考で考える力ってもともと人間に備わっていて、それを実は願望実現にも適用することができるんですよ。ですから、われわれはこういうのではなく半年でとかね、3年後ってイメージするのが実際そういうクライアントさんがやっぱりいらっちゃって、それはなぜかって言うと、この状態、脳が並列思考の状態、まさにビジョンを連鎖的に実現することができるから、どんどんビジョンというものが1つではなく2つ、2つではなく3つというふうに変現することができるんですよ。

塚田：順番通りやっていく、従来のものって順番通りプランを立ててそれをやっていくっていう感じだと思うんですけど、脳をフル活用するとそうじゃなくなっていくんですね。

小沼：まさに圧倒的なスピードで願いが叶ってしまうということなんですね。

塚田：これと併せて、私、ほんとに声を聞いててすごい思うのが、自分で連鎖的に全部やるほかに、声もめっちゃめっちゃかかったり、ありえない引き寄せが起こったりみたいな話もかなりよく聞くイメージなんですけど。

小沼：まさにそうで、われわれは脳科学的な引き寄せと言っているんですけども、どんどん誰かからの招待状が来たりとか、ここで言う招待状っていうのは別にインビテーションカードみたいなものがほんとに届くわけじゃなくて、ほんとに上のステージの人に声かけられたりとか、どんどん人脈が広がってったりとか、そういったことが自然と起きてくる。そういう磁場ができる。そんなイメージですね。願望実現の磁場というか。

塚田：自分でただやるっていうよりは、そういうのもどんどん引き寄せられる状態が、脳内タイムマシン起動するようになっていくということ。

小沼：だからどんどんあり得ないスピードで、自分の力以外の不思議な力が働いているとか、そんな感覚で実現できるということですね。

塚田：傍から見てても、何でそんなこと起きるの？みたいな方すっごいいますからね。

小沼：そうですね、そういったことがあるという話なんですね。

塚田：ありがとうございます。ここから脳内タイムマシーンを起動するとってかたちでいろいろ効果ほかにもたくさんあるというふうにお伺いしているので、もっと細かく聞かせていただきたいんですけども。

小沼：3つの効果を用意しました。脳内タイムマシーンが起動すると、どういう効果が得られるのかと。全部、冒頭にありえない速度で。

塚田：すごいですね、なかなか見ない絵面ですけど。ありえない速度でホニャララが。

小沼：できると。変わるとか、届くとか。

塚田：ってことが起きてくると。

小沼：3つ言いますけど、まず1つ目、これがありえない速度で行動できると。

塚田：行動ですね。

小沼：これ実際の事例を話したほうが分かりやすいと思うんですけど、芯観プログラムを過去受けていただいた方の中に、森田直美さんという女性がいました。この方は一主婦だったんですね。普通の一般的に主婦業されてる方だったんですけども、趣味みたいなかたちで音楽教室を小さいところでやっていた方なんですけど、この方ですね、芯観プログラム受けていただくことによって行動が全く変わってですね、それから100人規模のイベントを自分で主催したりとか、小さくやっていた音楽教室でスタッフ雇い入れたりとか、かつコンサルタントとしてクライアントを獲得したりとかですね。

塚田：すごい、趣味レベルでやってただけだったんですよね？

小沼：それがどんどん行動していくことによって、全く願望実現のスピードが変わってきた。それは自分の中で、さっきのタイムマシーンを起動させたからですね。

塚田：未来が頭の中にあるから無理なく行動できていくっていう。

小沼：ですから行動も全く変わってくというのが1つ目の効果ですね。

塚田：めちゃくちゃ大きいですね、1つ目から。まだ2つあるんですか。

小沼：あと2つあります。効果2、これはありえない速度で人間関係が変わるということですね。人間関係で悩んでいる方ってやっぱり多くて、これも実際の事例があって高橋尚美さんというこれまた女性の方なんですけど、この方親子関係が実はあんまりうまくいってなかったんですね。ちょっと過去にやっぱり、特にお父様との関係性なんですけど、その関係性がなかなかうまくいってなかったという話だったんですけど、芯観プログラムを受講していただくことによってそれが改善されて、人間関係が全く抜本的に変わって、お父様との関係性のとり方が全然変わってきたんですよ。ほとんど以前は話すことすらなかったのに、今では普通に一緒にお酒飲んだりとか食事したりして非常に円滑な親子関係を送っていて、われわれのところにも報告があったんですけどね。

塚田：不思議なんですけど、未来を変えるためのプログラミングをすることで、そういうところまで変わってっちゃう。

小沼：変わってきます。単純に数字とかお金とかそれだけじゃなくて、人間関係とか、そういう目に見えない感情も含めてですね、そういったこともどんどん実現されていくっていうのが、芯観の特徴ですね。

塚田：それは脳内時間軸が広がることによって起きるような。

小沼：中には親子さんだけでなく、パートナーシップ。セミナー受けた次の日にパートナーから婚約のプロポーズをされたとかね。

塚田：次の日ですか、すごいですね。起動した瞬間、もう変わっちゃったみたいな。

小沼：あるんですよね、やっぱりそういうのが。

塚田：すごいですね、ありがとうございます。

小沼：というのが2つ目、人間関係です。最後3つ目が、ありえない速度で招待状が届くと。

塚田：先ほどもちょっと出てきた招待状ですね。

小沼：これは次、男性で土井健生さんという男性の方がいて、まだお若い20代の方なんですけど、この方のご実家が着物を使ったバッグとかを作っている、小物を作っていることを細々とやられていて、奥さんと二人でみたいな感じでやられていたんですけど、この方は実際に受けていただいた芯観で学んだことを実践したらですね、まず展示会に出展することになって、一地元のほんと細々とやっていた、そういう個人事業主レベルでやっていたのが、確かヨーロッパの国から引き上げが来て。それをうちにも導入させてくれないかということで、今世界を舞台に活躍されていて、まさ

に招待状ですよ。

塚田：何でそんなことが起きるんですかね。

小沼：これはもう彼曰く、磁場ができていると。彼の言葉で言うと、招待状が引き寄せの磁場ができて、どんどん招待状が来るんだと。だから自分の中でもちょっと何が起きてるか分かりませんみたいな話をされてましたけど、それは何も不思議な話ではなくて、彼が自分のタイムマシーンを起動しているからですね。

塚田：プログラミングができると、それに合わせたことが引き寄せられてくるっていう。

小沼：っていうことが、実際に受けていただいた方々ですから、こういうことが起きているということですね。

塚田：すごいですね。しかも土井さんって実は以前にもちょっと動画にも出ていただいたと思うんですけど、そのときは結構、最初のときは家業を継ぐとか何もないような。

小沼：全くなくて、メディア関係の音楽の制作会社にいらっしゃいましたけど。

塚田：正直かなりブラックな環境でやられてたみたいなの。

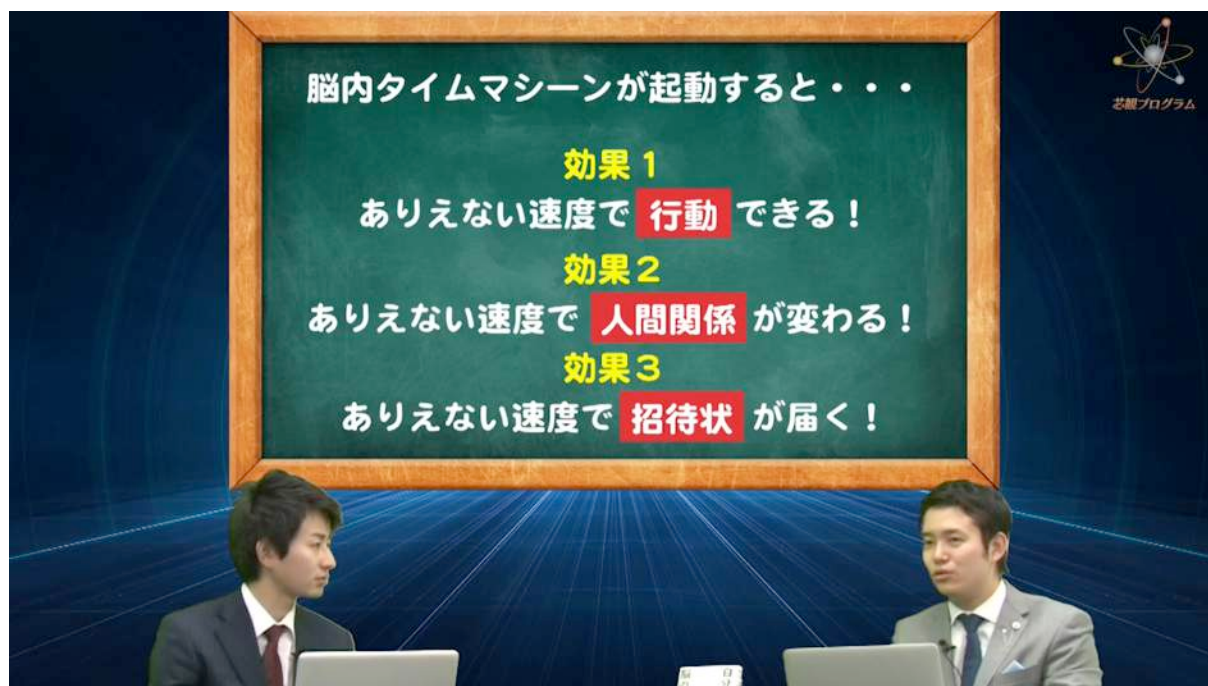
小沼：もちろん月 30 日労働で、月収が 10 万以下とかですからね。ほんと心身ズタボロになっていた時期に出てください。

塚田：数年でそこまで。

小沼：ほんと 2 年くらいじゃないですかね、たぶんその方は。3 年くらいで。

塚田：すごいですね、土井さん自身は 2 年後にそうなるって思ってたんですか。

小沼：いえいえ、全然、自分でもあり得ないスピードでどんどん実現していると。そのビフォーの差もすごいですね。そういうことで得られるのが、脳内タイムマシーンを起動すると、こういうことが得られますよということですね。



塚田：ありがとうございます。もうほんとに今にでも、今すぐにでも起動したいという気持ちですが、かなり見ている皆さんも高まってきたんじゃないかなと思うんですけども、実はこの芯観メソッド、脳内タイムマシーンを起動された方で、ものすごい圧倒的な成果を出されている石川式メソッドの第一人者の方に来ていただいているんですよね。その方と教室で今待ち合わせをしているということで、一旦このすごい空間から、小沼さんに教室に戻していただこうと思います。

小沼：じゃあ、松尾可奈さんが待ってる教室に移動しましょうか。じゃあ、いきまーす。

塚田：あっ、懐かしい教室に。

小沼：戻ってきましたねー。

二人：おおー！

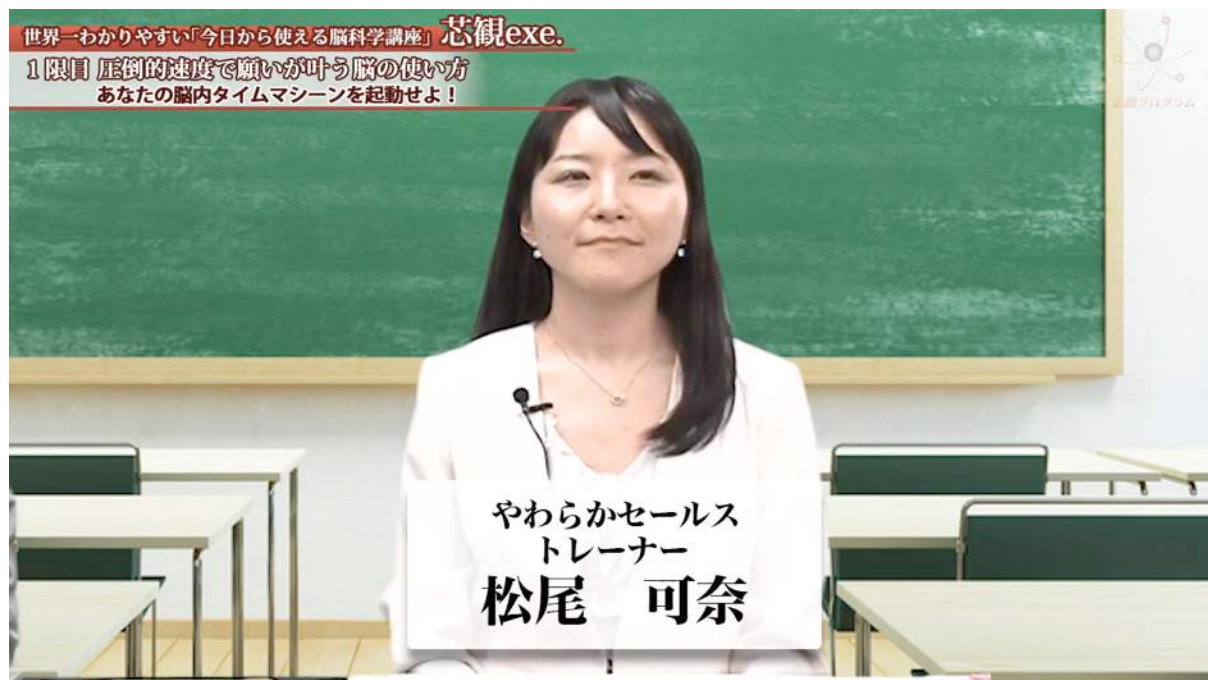
松尾：待ってましたよ、時間。

塚田：すいません、お待たせしました。

小沼：タイムマシーンでちょっと乗ってました、塚田さんと一緒に。

松尾：どこ行ってるのかな？と思いながら。

塚田：すごい空間に行っていました。思いもよらぬ登場だったんですけども、改めてご紹介したいと思います、松尾可奈さんです。よろしくお願いいたします。



松尾：よろしくお願いします。

塚田：松尾さん少しだけ私のほうから、今のご職業でやっていることをご紹介させていただきたいと思うんですけども、松尾さんは社会貢献をしたいという思いが強いがために、なかなかセールスができないコーチのための「やわらかセールス 100 万講座」という講座を提供されていらっしゃる。営業経験が全くない、ほんとにビジネスが全く分からない状態からビジネスをスタートされて、ご自身の独立から、ウェブのみで 1 年以内にコーチングのビジネスで年商 2000 万円以上を達成されるというすごい成果を出されていて、今はコーチの方々にセールスを教えるというのをメインにやっているという。

松尾：そうですね。一般的に OL さん、サラリーマンの方が独立をしてコーチとして独立したいとか、コンサル、セラピストとして独立したとか、こういった方が多いです。

塚田：その独立の中で、小沼さんと石川先生とは一緒に。

松尾：去年私が初めて講座をさせていただいて、そこでテキストの監修に努めて、脳科学的なところでテキストを見ていただいたりとかしてもらってました。

塚田：ありがとうございます。実践者の声としてもいろいろお伺いしていきたいんですけども、松尾さんは本当に石川先生のメソッドに出会われて人生変わられたっていうお話、事前にお伺いしているんですが。

松尾：私はもともと、小沼さんとか大雅先生に出会ったのが独立して1年目のときだったんですけど、集客の仕組みとか、そういった肩書、専門性を明確にしたりとか、こういったので結構疲れていたというか、動くこと、集客を安定させなきゃいけないって思ってその焦りとか不安で、何かこう疲れてたんですよね。なかなかセッションをクライアントさんにやっているときも、何かどこかで楽しめてない感じがして、すごいちょっと、そういった状況で困ってました。

あとはやっぱり自分が学んできた中で、このうまくいっている人のやり方真似すればいいのかな？とか、何かこの人、理想の人に近いから、私もちょっとそれいいんじゃないかって思って、その情報でビジョンを立ててたっていう感じですね。でも大雅さんとか小沼さんと出会って、私のビジョンってほんとはこういうものが、私の脳みそはすごいほしがってたんだっていうのが分かって、私が思い描いていたビジョンとちょっと違いました。

塚田：ほんとの意味での、最初にあったビジョンは本物の脳内時間軸の中にないようなビジョンだったのが、ほんとに脳内未来ができたっていう。

松尾：自分の脳みそに合ったビジョンってこういうことかっていうのがすごい腑に落ちるっていうか、すごい体感覚というか感覚で実感値があるので、相手にクライアントさんに接するときとか、誰かにビジョンを語るときもすごいリアリティを持って語れるので、すぐ伝わるんですよね。

塚田：それは以前とはガラッと変わったってことですか。

松尾：全然違いますね。まず、大雅さんとか小沼さんに関わっていただく前は、どちらかというところポーンとしてたとか言われるんですよ、周りの同業者の方に。何か松尾さん一気に変わったねとか、一気にここ数年で大きく変わっちゃったよねとか、結果的にそういうふうに見られてて。そう言われるのが、ああそかっていうふうに、自分の中ではやりたいことに一生懸命やっているだけ、そういった行動力もなかなかなかったんですけど、そこがすごい大きく変わりました。

塚田：それは今のあり方とかも変わってきたみたいなお話だと思うんですけど、それが脳内未来を。

松尾：変えよう、変えようと思ってやったっていうよりも、自然と変わっていく自動的なスイッチを押してもらったみたいな感じです。

塚田：先ほど例で挙げた森田さんの行動が変わったっていうところともかなり近い。もう少し具体的にどういうことが起きていたのか、ちょっとお聞きできればと思うんですけども、実際にビジ

ョンも実現されてると思うんですけど、そこら辺についてもう少し詳しくお聞きしてもいいですか？

松尾：まさしく、どんどんやりたいことが湧き出るようになってきたというのが正直なところで、それまではこれやないと、あれやないと、って周りの意見を聞きながらそこに流されながら、一生懸命ラットレースみたいな感じでやってるような感じだったんですよ。



このスライドにもあるように、たぶんおそらくですね、私がいろんな自分の成長段階に応じて新たにコンサルをつけていくと、マーケティングのコンサルとか、そういったビジネスの関連のコンサルをつけていく、このステップ1,2,3のこの順番でたぶん過ごしていったって、ほんとは大雅さんとか小沼さんに出会って知りえたビジョンはもっと10年後とか、もっと8年、10年、15年後先でしか、たぶん気づかなかったと思うんですよ。それが一気に、このステップ1,2,3みたいな感じで、ビジョンが今の目先の1年、2年、3年先のビジョンしか立てられなかったものが、このステップ2、ステップ3みたいに肉付けされて連鎖的にビジョンが整ってくるというか、そういったのがすごい違うところなんですけど、たぶんこれ聞いてたら、ビジョンやりたいこといっぱいあると忙しそうじゃない？とか、やることがいっぱいイメージされて大変そうじゃない？って思われるかもしれないんですけど、むしろ以前よりもやりたくなっちゃうので、一気に並行して叶えたくなる、そういったモチベーションとか行動力もワースと湧き出るんですよ、無理なく自然に。

塚田：逆に前よりも行動しているのに、前よりも疲れないう。

松尾：そうですね。そういった状況が手に入ったのはすごいありがたいというのがありますし。

あと、私の周りの同業者とかクライアントさんとか、10年かかるようなやり方、時間の使い方されてるような気がして、私ほんとラッキーだったなって。すごい思うんですよ。ほんと感謝してて、感謝しててって言って、偉そうな感じなんですけど。なのでタイムマシーンに乗って、そんな感じなんですよ。未来を先に見てるような。ちょっと熱くなって語っちゃいましたけど。

小沼：伝わってます。

松尾：伝わってます？勝手に。

塚田：熱い思いと結果が、ほんとに素晴らしいです。

松尾：私この表を、もともと小沼さんとか大雅さんに会ったときに教えてもらってたわけじゃなかったんですよ。これたぶん見ておられる方、一見難しそうだなとか、これ自分が考えて実行できるかな？とか、もしかしたら思っておられるかもしれないんですけど、実際にこういったことが頭にもとまらなかった私でも、結果的に小沼さんとか大雅さんが言うように、言われた通りに動いてただけで、実際振り返ってみると、こういうふうに設計図ができてたんだ、って脳みその中に。



塚田：言われたら、確かにその通りにやってるぞみたいな。

松尾：これが自然なかたちでできちゃってたんだ、自分の頭の中にとって思いました。

塚田：なるほど、じゃあこの原理は原理としてあるけど、そのやり方をちゃんとやっていけば自然

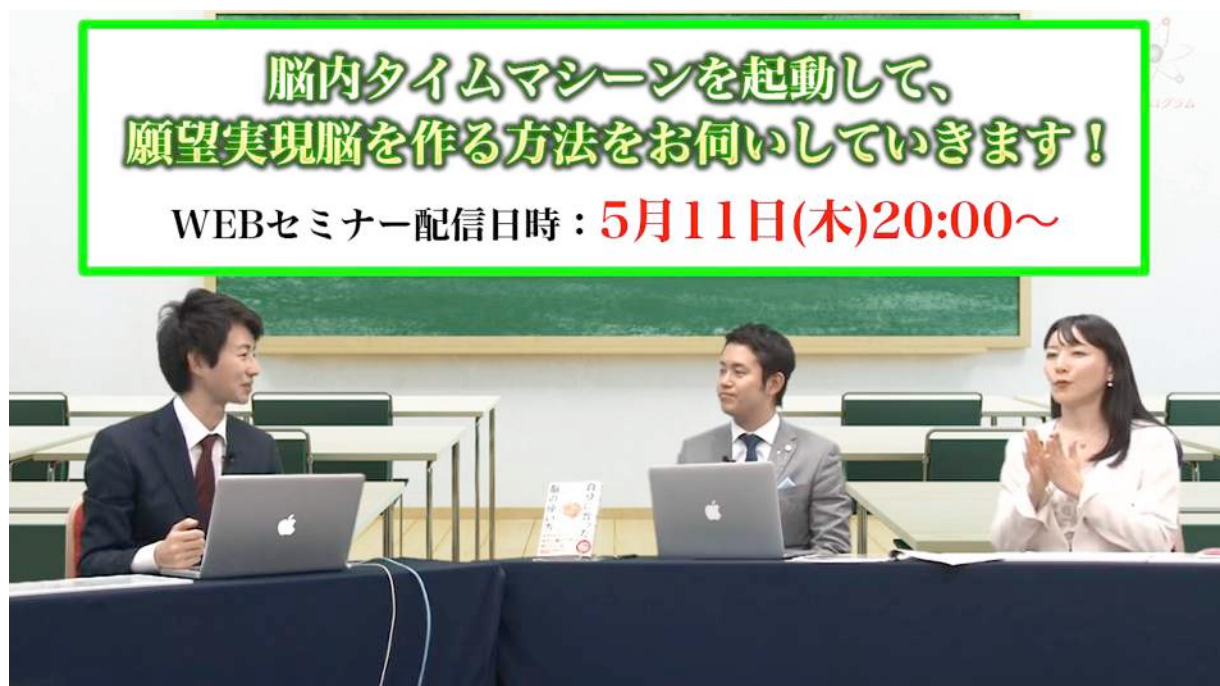
とこれができるでしょう。

松尾：自然にそんな考えなくても、もうそういったのが脳にインプットされてるので、自動スイッチ押されちゃってこれがうまく回る仕組みになってるっていう感じでした。

塚田：小沼さんと石川先生にスイッチ押されちゃったみたいな感じですね。小沼さん、これは松尾さんがすごく特殊なわけではなくて、ほんとに皆さんそういう感じになっていくっていう感じで。

小沼：そうですね。可奈さんののも1つの事例ですし、今まさに可奈さんおっしゃったように、これを100%理解することが大切なんではなくて、原理はこれですよ。ただし、芯観というものは結果的にこの脳が使えるという考え方ですよ。

塚田：それを今回、再来週のWEBセミナーでしっかり全部お聞きできるというかたちですね。ちょっと番宣みたいな感じになっちゃったんですけど。



小沼：番宣です、これは。

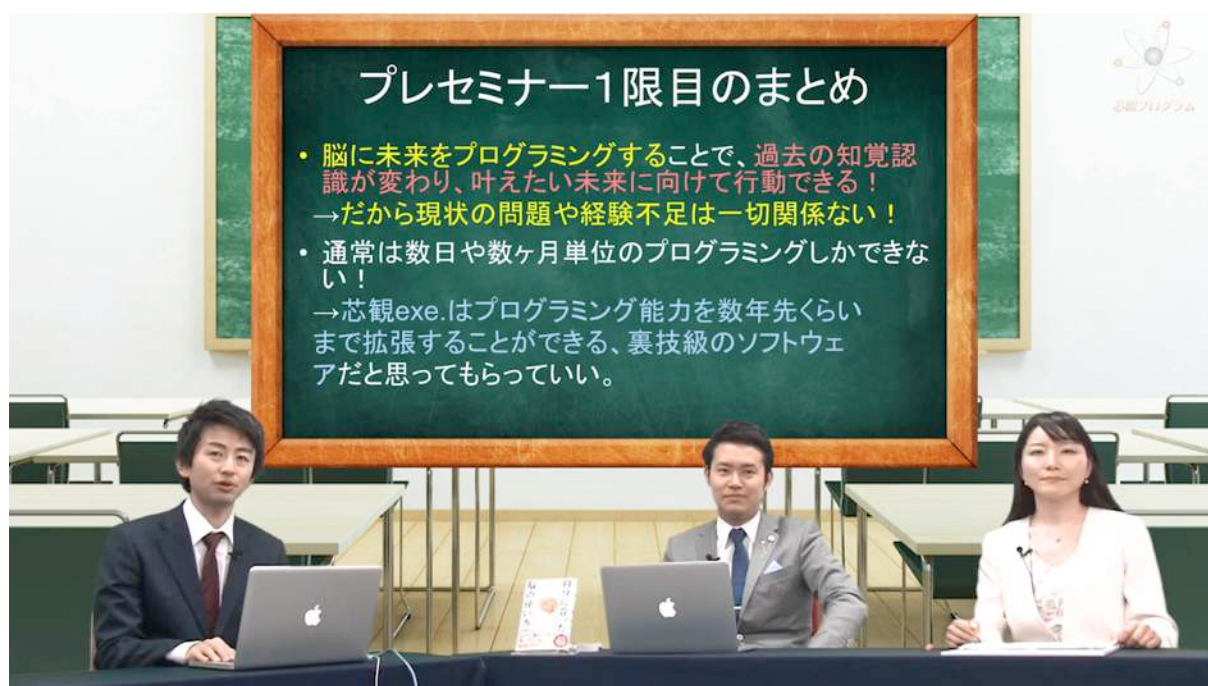
塚田：楽しみです。

松尾：楽しみです、それはね。

塚田：松尾さんはある意味もうできるようになったところから、その流れをもう1回逆から追っていくみたいな。

松尾：そうですね、すごい楽になりました。

塚田：ありがとうございます。ということで、ここまでプレセミナー1ですね。ものすごい長い動画になってしまったんですけども、ちょっとだけ、かなり情報量も多かったので端的にまとめさせていただきたいと思います。



まずとにかく重要なのが、未来を自分の過去に合わせて変えろとか、自分の現状に合わせて何かをするっていうわけではなくて、脳に未来をまずプログラミングをする。そのために脳内の時間軸を広げていくっていうことをした上で、脳に未来をプログラミングしていくと過去の知覚認識が変わって、現在の行動も変わって、ほんとに叶えたい未来に向かって動き出していけるっていうことを教えていただきました。だからこそ、一番最初に言っていた現状の問題とか、そういうのは全然関係ないんですよ。実際、プログラムを過去に参加された方もほんとにそうやって成果を出されてきていると。松尾さんもさっき教えていただいた通り、出されていると。というお話をお伺いしました。ここで、今この場にはいらっしやらない、WEB セミナーでお話を聞く石川先生から名言を預かっていてですね、ぜひ伝えてほしいということで、こちらですね。石川大雅先生の名言「未来は変えるな！未来を創れ！」って言葉をメッセージで普段話されているんですよ。これはどう



小沼：これは石川大雅がよく、今日の話の脳内未来の話なんですけれども、未来っていうものはわれわれが変えるものではなくて、さっき話したように脳内の未来の中でいくらかでも創れるものなんです。今ある未来を変えようとするんじゃなくて、まず自分の脳の中でしっかりと脳内未来を創ろうよというメッセージなんですね。その脳内未来でしっかりと脳内未来が創ることができて、かつタイムマシンが起動できれば、自動的に僕らの脳にはプログラミングされていって、実現行動ができるように。それは結果的に未来を変えることにはなるけれども、未来を創ることができれば結果的に未来は変わるんだよっていうことですよね。

塚田：今お話聞いてて、今ある未来っていうふうな言葉ってまさに一般的な時間軸で、過去があるからそういう言葉になってくるってことですもんね。

小沼：そうですね。

塚田：そんなもの、そもそもないんだよっていうことですね。はい、ありがとうございます。こんな石川先生から、WEB セミナーではご本人のお話も聞けると。こういうメッセージで、スタンスの上でお聞きできるということで。

小沼：そうですね。

塚田：ありがとうございます。普通の人には未来のプログラミングもすでにできているけど、数日や数か月くらいの単位でしかまだできない人がすごく多いと、いう能力を拡張するのが今回、芯観 exe. という、芯観プログラムをさらにパワーアップさせたプログラム。これを実践していくことで、プ

プログラミングの能力を数年先までのものに拡張して、数十年先の未来まで叶えていけるような、そんな裏技級のソフトになっていると。

松尾：パワフルですね。

塚田：パワフルですね。ほんと裏技ですよ。

松尾：ほんとと裏技です。

塚田：先ほどもお話聞きましたけど、ステップが一気に縮小して。っていうのはほんとに、ぜひ皆さんにも実感していただきたいと思いますので、ぜひ楽しみながら今後も学んでいただければと思います。少しだけ、次回以降のプレセミナーですね。WEB セミナーは再来週の日程で行わせていただくんですけれども、それまでまだお時間ありますのでプレセミナー残り2本をお伝えさせていただきます。まずプレセミナー2 では、今回の脳内タイムマシーンとはまた別枠で、全人類が必ず持っている成功と失敗の脳の切り替えスイッチ、というまた気になるテーマを教えていただけます。このスイッチもめっちゃめっちゃ重要なんですよ。

小沼：ものすごい大事ですね。

松尾：気になりますよね。

塚田：このスイッチがあるかないかで、かなり脳内タイムマシンの機能も変わってくると。

小沼：今回の話にも関連する話なんで。

塚田：ってことですよね。次回もほんとに肝の話になってくるので、プレセミナー2 はとにかく WEB セミナー前にぜひ見ていただきたい内容になっています。それからプレセミナー3 では、ほんとにかなり重要なところで記憶というテーマですね。これはプログラミングをしていくっていうフェーズですごく重要になってきますので、これも WEB セミナー前にプレセミナーとして、今回みたいに楽しくお伝えさせていただきたいと思っております。ということで WEB セミナーももちろんなんですけれども、プレセミナーもかなりボリューム満載で今後もお届けしていきますので、ぜひ楽しみにお待ちください。さらに、コメント特典ですね。今回、この動画の下の方にコメントをするコメントフォームみたいなものがご用意させていただいております。こちらのコメントフォームに今回の動画の感想ですとか、せっかく動画を見ていただいているので、より学びを深めるためのワークですね。簡単なものを出題させていただいておりますので、ぜひそちら、学びを脳により刷り込むために実践していただければと思います。

松尾：ありがたいですね、これね。こういったワークもできるって。

塚田：やっぱこういうのをやるのって重要ですか。

松尾：重要ですよ、はい。

塚田：ありがとうございます。そういうのも一応用意しようかなと思っていて、一応用意をしています。さらに今回は、石川先生や小沼さん、それから松尾さんにも質問をさせていただけると。

小沼：質問ください、ぜひ。皆さんの感想とかも聞きたいんで。ぜひ、ください。

松尾：私はまさしく体験して、うまくいってなかったときがうまくいくようになった、そういった実体験があるので、もう伝えたい、こういったこの良さを伝えたいっていう思いが結構熱くあるので、零れ落ちると思います。

塚田：生々しいお話とかも、今までの、お聞きできるというかたちで、コメント欄もお二人にも、石川先生にも見ていただけると。

小沼：もちろん拝見しますので。

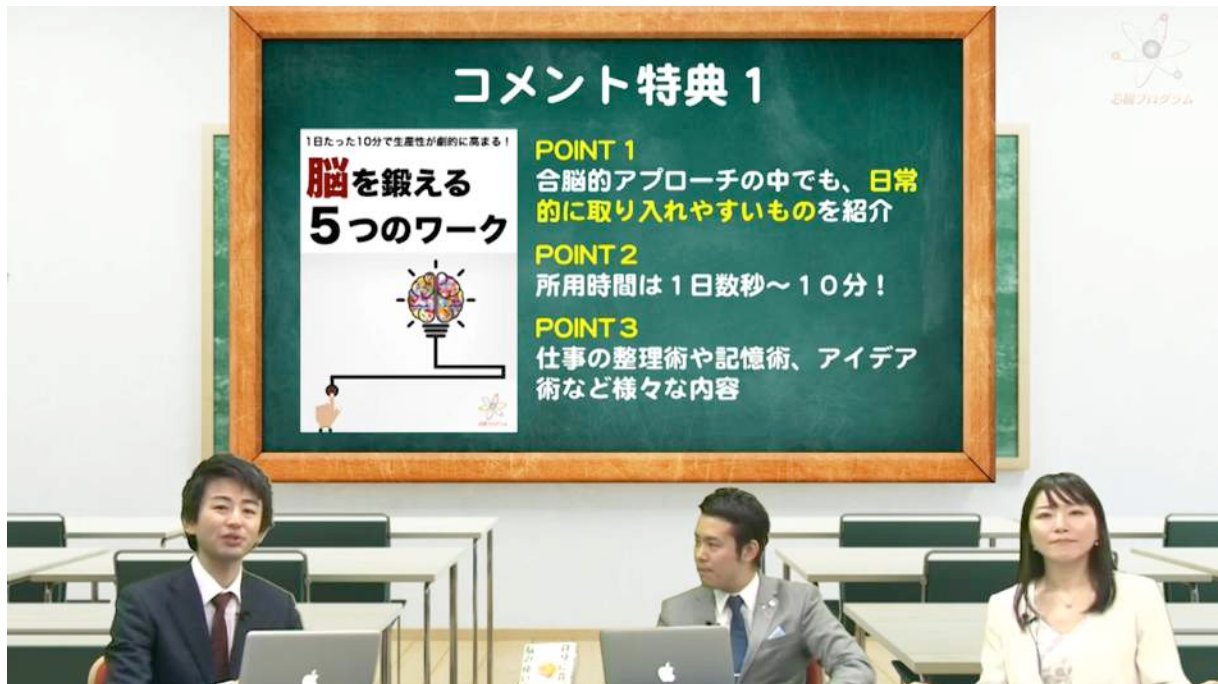
塚田：そこまでしっかり見させていただきますので。ほんとに、より多くの方がすごい聞きたいですとか、気になっている点っていうのは、なんと石川先生からもQ&Aというかたちでいただけると。石川先生から実際に。

松尾：なかなかないですからね。

塚田：なかなかないですよ。一般人の前になかなか出てこれない。

松尾：一般の方、全然出てこられないので、私もツテを辿ってやっとこさ受けれたっていうのがあるので、これはもうほんとに、なかなかないです。

塚田：このチャンスをぜひ使っていただければというかたちになっていますので、ぜひ質問もしていただければと思います。そういったプログラムに積極的に参加していただいたお礼で、こちらの特典もご用意させていただいております。



今回は「脳を鍛える5つのワーク」ということで、合脳的アプローチ。今回の時間っていうテーマでお伝えしたんですけども、もっと日常的に取り入れやすいものも実はいくつかございます。仕事の整理とか、あとは記憶力アップとか、アイディアをどう出すのか、そこらへんの5つの脳内ハックみたいな感じのものでお伝えさせていただいて、所要時間はなんと1日数秒から10分と、ほんと手軽にできるものばかりですので、こちらもすごいボリューム満点で20ページくらいのPDFになっていますので、こちらもぜひ特典を手に入れていただければと思います。コメントしていただいたらコメント申請ボタンというのがありますので、そこから手に入れていってください。

小沼：ぜひ、使ってください。

塚田：はい。ということで、かなり長いお時間になったんですけども、最後までお付き合いいただいてありがとうございます。

小沼：ありがとうございます。

塚田：ここからもボリューム満点で、サービス精神旺盛でお届けして行って。

松尾：サービス精神旺盛ですね。

塚田：ここまで出していいのかみたいな。

松尾：小沼さん、大雅さんそうなんですよ。ここまで出すんだって感じのものを、結構この特典

とかもたぶんすごいボリューム高いんだろうなって。ほかのところの特典って結構薄っぺらかったりとかしたりするかもしれないですよ、そんなあんまり言えないですけど。でも、特典ですらもすごいっていうのが特徴ですよ。

塚田：ほんとそう思います。

小沼：うれしいですね。

塚田：ということで、ブレーキなしでお届けてしていきますので、ぜひ楽しみに今後もお覧いただければと思います。

小沼：はい、よろしくお願いします。

塚田：では、最後までお付き合いいただいてありがとうございます。

松尾：ありがとうございました。

小沼：よろしくお願いします。

1 限目のご受講、ありがとうございました！

本講座は **参加型** の実践プログラムです。

1 限目についての感想や質問を

コメント投稿フォームへご投稿お願いいたします。

コメントをいただいた方全員に

特別プレゼントをご用意しています！

コメント特典第1段

『脳を鍛える5つのワーク』【PDF】

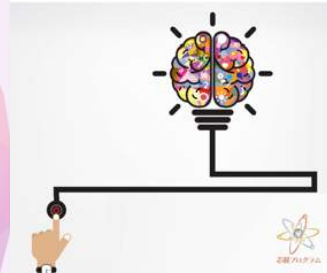
このワークブックでは、芯観の考え方を根底におきつつ、**記憶力、行動力、IQ などの能力をシンプルに高める5つのワーク**をご紹介します。

所要時間は**1日たった10分**です。

ちょっとした隙間時間にできる**能力開発習慣**をぜひ、身に付けてくださいね！

1日たった10分で生産性が劇的に高まる！

脳を鍛える 5つのワーク



ぜひ、手に入れてさらなる理解にお役立てくださいね。

1 限目をご受講いただき、誠にありがとうございました！

芯観 exe.WEB セミナー 運営事務局一同

★コメント、コメント特典のご請求はこちらから

⇒ <http://frstp.jp/shinkan-exe-cm1>

上記コメントフォームで、次の質問にお答えください！

- ① 1 限目でのあなたの学びや気づき、感想
- ② 脳内タイムマシンを起動して、叶えたい未来を教えてください
- ③ 石川先生・小沼さん・松尾さんに聞いてみたいこと、メッセージ